



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月28日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL <https://www.shimano.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長兼経理部管掌 (氏名) 金井 琢磨 (TEL) 072-223-7857
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 2020年9月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	160,255	△11.9	28,674	△15.8	36,131	4.3	31,206	26.0
2019年12月期第2四半期	181,949	4.1	34,053	△1.3	34,644	△9.7	24,766	△10.6

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期16,334百万円(△8.1%) 2019年12月期第2四半期17,778百万円(14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	336.64	—
2019年12月期第2四半期	267.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	545,652	498,380	91.3
2019年12月期	538,769	489,236	90.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 498,219百万円 2019年12月期 489,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	77.50	—	77.50	155.00
2020年12月期	—	77.50	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	77.50	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	△3.6	63,500	△6.6	71,800	3.4	58,300	12.5	628.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 2 Q	92,720,000株	2019年12月期	92,720,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	19,569株	2019年12月期	19,272株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 2 Q	92,700,562株	2019年12月期 2 Q	92,701,385株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に伴い、欧州では、消費者マインドが大きく落ち込む中、ロックダウン等の影響もあり景気は大幅に悪化しました。米国では、感染対策に伴う雇用減少もあり給与所得の落ち込みの影響から個人消費が大きく後退しました。経済活動再開の動きは広がったものの、景気の回復には至りませんでした。日本では、緊急事態宣言による外出自粛要請で個人消費は大幅に下振れし、経済活動の停滞とともに雇用所得環境等の経済基盤が損なわれ景気は後退しました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は160,255百万円(前年同期比11.9%減)、営業利益は28,674百万円(前年同期比15.8%減)、為替差益の計上等により、経常利益は36,131百万円(前年同期比4.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31,206百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

欧州市場では、新型コロナウイルスが域内全域に広がったことから多くの自転車小売店が休業を余儀なくされましたが、外出・移動の規制緩和が進むにつれ手軽なレクリエーション、感染リスクの低い交通手段として自転車の需要が急速に高まりました。また、各国で自転車購入を後押しする補助金支給等の政策が打ち出されたこともあり、5月以降の市場在庫は低い水準で推移しました。

北米市場や中国市場においても欧州と同様に、自転車需要が高まり、市場在庫は5月以降低い水準で推移し、新型コロナウイルスの感染拡大が続いた南米市場では、自転車需要は堅調に推移し市場在庫も適正水準を維持しました。

日本市場では、緊急事態宣言による外出自粛要請の影響が大きく、一部で自転車需要の増加は見られたものの、軽快車・スポーツ車市場ともに販売は全体的に低調となりましたが、市場在庫は適正水準で推移しました。

このような市況のもと、マウンテンバイクコンポーネントの新型「Deore」は市場より高い評価を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は122,613百万円(前年同期比14.6%減)、営業利益は22,963百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

② 釣具

日本市場では、4月の緊急事態宣言後は比較的感染の少ない地域の需要、またイーコマースの販売を中心とした需要はあったものの、消費者マインドの低下により販売は一時的に落ち込むこととなりました。5月後半の緊急事態宣言解除後は、アウトドアレジャーである釣りを楽しむ消費者からの急速な需要の高まりを受け販売は急速に回復しました。

海外市場では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月以降は多くの国で外出規制がされ販売に影響が出ました。その後5月以降は、アウトドアレジャーとしての釣りが再評価され釣具への需要が高まる傾向となりました。

このような状況の下、北米市場では外出せずとも釣具が購入できるイーコマースが販売を下支えし、4月後半からの規制緩和とともに釣具の需要も急激に高まり、販売は前年同期の水準まで回復しました。

欧州市場では、釣り自体が多くの国で禁止になったこともあり販売は低調に推移しましたが、6月以降欧州全域で回復傾向となり、販売は一気に持ち直しました。

アジア市場では、新型コロナウイルスの影響から回復した中国における販売は好調さを取り戻した一方で、その他の国では総じて低調に推移しました。

豪州市場では、ウイルス感染拡大の収束が早かったこともあり、4月後半から市場環境が一気に回復し小売店の仕入れは活況なものとなりました。

このような市況のもと、日本市場では、「Metanium」、「TWIN POWER」等の新製品や普及価格帯のスピニングリールが好調であり、海外市場のうち、中国では「LUNAMIS」等のスパイラルXコアを搭載したロッドが好調でした。

この結果、当セグメントの売上高は37,487百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は5,771百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は154百万円(前年同期比9.6%減)、営業損失は61百万円(前年同期は営業損失33百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は545,652百万円（前連結会計年度比6,882百万円の増加）となりました。これは、建物及び構築物が15,250百万円、現金及び預金が2,882百万円それぞれ増加し、建設仮勘定が6,834百万円、受取手形及び売掛金が2,126百万円、機械装置及び運搬具が1,659百万円、投資有価証券が1,421百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は47,272百万円（前連結会計年度比2,261百万円の減少）となりました。これは、短期借入金が2,666百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は498,380百万円（前連結会計年度比9,143百万円の増加）となりました。これは、利益剰余金が24,022百万円増加し、為替換算調整勘定が13,958百万円減少したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、267,550百万円（前連結会計年度比2,811百万円の増加）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、36,606百万円の収入（前年同期は31,831百万円の収入）となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益39,635百万円、減価償却費9,278百万円等によるものです。また主な支出要因は法人税等の支払額7,790百万円、為替差損益6,412百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、19,375百万円の支出（前年同期は31,338百万円の収入）となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出16,385百万円、無形固定資産の取得による支出2,316百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、10,138百万円の支出（前年同期は6,352百万円の支出）となりました。主な支出要因は配当金の支払額7,186百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期業績予想につきましては「2020年12月期第1四半期決算短信」の公表時において、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による当社業績への影響度合いを合理的に算定することが困難であったため、公表を取り下げ、未定とさせていただきます。この度、現時点で入手可能な情報や予測に基づき、業績予想を公表いたします。

詳細につきましては、本日公表しました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2020年12月期 通期連結業績予想数値の変更（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	350,000	63,500	71,800	58,300	628.91
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
前期実績 (2019年12月期)	363,230	68,010	69,471	51,833	559.15

また、当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期と同様の1株当たり77円50銭とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期と同様の1株当たり155円を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	270,070	272,953
受取手形及び売掛金	36,192	34,065
商品及び製品	39,904	39,760
仕掛品	23,874	22,822
原材料及び貯蔵品	5,156	5,574
その他	6,336	6,609
貸倒引当金	△345	△472
流動資産合計	381,189	381,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,211	70,462
機械装置及び運搬具(純額)	21,615	19,955
土地	13,575	13,454
リース資産(純額)	3,239	3,314
建設仮勘定	25,457	18,623
その他(純額)	5,612	5,302
有形固定資産合計	124,712	131,113
無形固定資産		
のれん	3,886	3,677
ソフトウェア	5,562	5,330
その他	4,160	5,513
無形固定資産合計	13,610	14,522
投資その他の資産		
投資有価証券	12,328	10,906
繰延税金資産	5,337	5,697
その他	2,147	2,623
貸倒引当金	△555	△524
投資その他の資産合計	19,257	18,702
固定資産合計	157,580	164,339
資産合計	538,769	545,652

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,529	11,870
短期借入金	3,167	500
未払法人税等	7,046	8,202
賞与引当金	2,183	1,554
役員賞与引当金	161	79
火災損失引当金	10	—
その他	17,501	18,983
流動負債合計	43,599	41,191
固定負債		
長期借入金	1	0
繰延税金負債	1,005	884
退職給付に係る負債	3,220	3,489
その他	1,706	1,704
固定負債合計	5,933	6,080
負債合計	49,533	47,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,642	5,642
利益剰余金	448,941	472,963
自己株式	△135	△140
株主資本合計	490,061	514,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,687	1,763
為替換算調整勘定	△3,663	△17,622
その他の包括利益累計額合計	△976	△15,858
非支配株主持分	151	160
純資産合計	489,236	498,380
負債純資産合計	538,769	545,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	181,949	160,255
売上原価	111,346	97,916
売上総利益	70,603	62,339
販売費及び一般管理費	36,549	33,665
営業利益	34,053	28,674
営業外収益		
受取利息	2,113	1,456
受取配当金	220	254
為替差益	—	6,758
その他	413	333
営業外収益合計	2,748	8,802
営業外費用		
支払利息	47	66
寄付金	791	530
為替差損	925	—
固定資産除却損	147	460
その他	244	288
営業外費用合計	2,157	1,345
経常利益	34,644	36,131
特別利益		
受取保険金	—	3,619
特別利益合計	—	3,619
特別損失		
工場建替関連費用	13	115
火災損失	265	—
特別損失合計	279	115
税金等調整前四半期純利益	34,365	39,635
法人税、住民税及び事業税	9,819	8,406
法人税等調整額	△228	3
法人税等合計	9,591	8,409
四半期純利益	24,774	31,225
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,766	31,206

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	24,774	31,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△444	△923
為替換算調整勘定	△6,551	△13,967
その他の包括利益合計	△6,995	△14,891
四半期包括利益	17,778	16,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,778	16,324
非支配株主に係る四半期包括利益	0	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	34,365	39,635
減価償却費	8,907	9,278
受取保険金	—	△3,619
受取利息及び受取配当金	△2,334	△1,711
支払利息	47	66
為替差損益(△は益)	908	△6,412
売上債権の増減額(△は増加)	△1,094	1,486
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,318	△605
仕入債務の増減額(△は減少)	△849	△1,255
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	454	291
工場建替関連費用	13	115
火災損失引当金の増減額(△は減少)	△223	△10
火災損失	265	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	144	445
未払賞与の増減額(△は減少)	1,869	1,526
その他	△975	675
小計	39,182	39,906
利息及び配当金の受取額	2,392	1,903
利息の支払額	△53	△62
保険金の受取額	—	2,915
火災による支払額	△46	△265
法人税等の支払額	△9,644	△7,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,831	36,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,452	△907
定期預金の払戻による収入	56,757	678
有形固定資産の取得による支出	△14,117	△16,385
無形固定資産の取得による支出	△1,314	△2,316
工場建替関連費用の支払額	△8	△155
その他	474	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,338	△19,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,381	△2,390
長期借入金の返済による支出	△239	△232
リース債務の返済による支出	△304	△324
自己株式の取得による支出	△6	△5
配当金の支払額	△7,183	△7,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,352	△10,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,903	△4,280
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	52,913	2,811
現金及び現金同等物の期首残高	176,392	264,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	229,305	267,550

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	143,599	38,179	170	181,949	—	181,949
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	143,599	38,179	170	181,949	—	181,949
セグメント利益又は損失(△)	28,613	5,473	△33	34,053	—	34,053

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	122,613	37,487	154	160,255	—	160,255
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	122,613	37,487	154	160,255	—	160,255
セグメント利益又は損失(△)	22,963	5,771	△61	28,674	—	28,674

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。